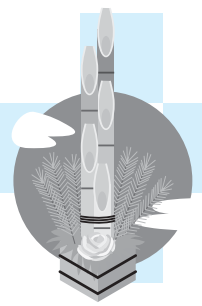


2004 新年のごあいさつ



新年明けまして おめでとうございませう



大崎町長
東 靖 弘

あけましておめでとうございませう。
希望に満ちた輝かしい平成十六年の新春を、ご家族お揃いで健やかに迎えのとお喜び申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりましてご健勝で多幸な一年になりますことを心からお祈りいたします。
町民の皆様には日頃から町政に対する暖かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。お陰をもちまして昨年三月には公共下水道が一部供用開始され、八月には生涯学習活動の拠点施設となる中央公民館がリニューアルオープンしております。また、曾於南部畑地かんがい事業につきましても、平成十八年度の一部通水に向け順調に進められており、本町の将来へ向けた発展の

基盤を固めることができた一年ではなかったかと思っておりますが、ここに新年を迎え本町の一段の躍進を期して、清新の気がみなぎるのを覚えます。

さて、最近のわが国経済の動向を見てみますと、設備投資は増加傾向にあり輸出も持ち直しの気配を見せられておりますが、雇用情勢については依然として厳しく、新卒予定者等の雇用先確保も厳しい状況でございます。このような状況の打開策として、また、雇用の確保と若者定住策として、これまでも企業誘致に努めてまいりましたが、昨年度はタカラバイオ(株)や(株)ストーンワークスをはじめ、県内で最も多い四つの企業と立地協定を結ぶことができました。特に野方西谷集落に工場を新設された(株)ストーンワークス(上中誠社長の開発したシラス緑化基盤材)が平成十五年度全国地場産業大賞大会において、大賞の中小企業長官賞を受賞されましたが、今後さらに関連事業所等が本町に進出して

ただける事を期待しているところでございます。

また、本町の基幹産業である農業を取り巻く状況は、農産物の自由化問題等難しい課題を抱えておりますが、そういった中で、平成十五年度農林水産祭式典において、農林水産業者の最高の榮譽といわれる天皇杯を野方西谷集落で畜産業を営まれている藤岡教雄・美恵子ご夫妻が受賞されました。このことは今後のわが町畜産業の振興と地域発展の実践的な指針になるものと期待しているものでございます。

近年、環境問題につきましては皆様の意識の高まる中、大崎町衛生自治会が中心となり『菜の花エコプロジェクト』をはじめとする多くの事業にいち早く取り組まれ、環境問題に取り組む団体として高い評価を得ておりますが、地方分権型社会に進みつつある今日、地域活性化のためには地域住民の皆様と地方自治体との協働は不可欠なものであると認識しており、その良い先例になつて

るのではないかと考えております。

見渡してみますと、市町村合併問題や国と地方の税財政三位一体改革の影響など、本町を取り巻く諸情勢は誠に厳しいものがありますが、私は町長として与えられた任期中、誠心誠意、情熱を傾けて、町民の皆様にご負担を減らすことが私の使命であると考えておりますので、皆様の生活の安定と福祉の向上のために『ひと・もとの・自然・調和が奏でる躍動のまち』づくりを基本理念に、町政の直面する諸課題の解決に努力し、町民の皆様が『大崎に住むことに自信と誇りを持ち、いきいきと暮らすことができる社会』を実現すべく、今後も専心全力を尽くす所存でございますので、町民の皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この一年が、皆様にとりましてすばらしい年になりますよう心から祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。